

洋書輸入協会会報

VOL. 7

NO. 8

(通巻76号) 昭和48年8月

理事会報告

7月4日(水)

- (一) 内外の諸情勢について討論。
- (二) 英国大使館商務官事務所ソーン氏との会見報告。
- (三) OECD東京事務所開設についての報告。直営・直販を主として、卸業務もおこなう。
- (四) その他。

7月10日(火)

- (一) 6月分収支計算・予算対比表の検討。
- (二) 会費値上げ案の検討。
- (三) 各種情報交換。

7月20日(金)

- (一) 内外の諸情勢について情報交換。
- (二) Kraus Reprint社(リヒテンシュタイン)の7月1日からの価格表示変更(US\$ 1.00をSFr. 3.50に換算)について討議。渉外委員会が協会を代表してこの事実上の値上げに抗議するとともに、取引のある各社も抗議することとする。
- (三) 次回理事会に最近英国の出版社を訪問されたUPS斎藤純生氏およびブックス・フォ・アジア社の市川温氏を招き、英国出版界の情勢をきくこととする。

通関委員会報告

東京税関東京外郵便出張所に次の方々が新任されましたのでお知らせいたします。

管理課長	増川順三氏
統括審査官 輸入第一部門担当	垣内兼雄氏
統括審査官 輸入第二部門担当	服部 功氏
統括審査官 輸出版門担当	神林秀敏氏

関税広報官

田口亮一氏

なほ、前管理課長山崎五郎氏は羽田支署へ、前統括審査官植田榮一氏は神戸税関へ、名取肇氏は貿易センタービル出張所へそれぞれ転任され、柏山治弥氏は退官されました。東京外郵便在職中、通関手続きにつき御指導いただきましたことに感謝し併せて報告いたします。

文化厚生委員会だより

第六回囲碁大会開かる

協会囲碁同好会が毎年初夏に開く大会も今年で第六回を迎え、7月7～8日箱根の桜溪荘において開催された。委員長渡辺氏はこの会の創始者であり肝イリ役、会長の石内氏も発足以来の長老で、さらに月例会で指導をしてくださる日本棋院の石毛七段、時本三段もお迎えし、集まるもの実に27名を数え、今までにない大盛況であった。初参加の方も何人かあり、又なかには、昔はゼンゼン知らないがこういう楽しそうな集まりは大好きで、と出席された方もあって会のふんい気を益々楽しいものにした。

A・B二クラスに分れた勝抜きトーナメントの成績は(クラス)1位:原田晃英(洋販)2位:橋本晟(三修社)3位:橋研一(テクニコン)(Bクラス)1位:秋山昭夫(白鷗洋書)2位:石内茂吉(東光堂)3位:武田全弘(三洋出版)であったが、トーナメントが終るや、日頃の排敵や初手合せの人と熱っぽく盤を開き、なかには徹夜で打つ猛者も出る始末。酒量の方も一段とあがって幹事の肝を寒からしめた。

参会者全員に俳人である石毛七段の揮毫入り扇子が配られ好評を博したが、同好会の犬狗諸子にとって何よりの贈りものであったといえよう。

幹事原田晃英(洋販)

『随 想』

東京大学法学部研究室 高 橋 啓 悦

コミュニケーションについては、いつの時代でもそれなりに問題にされたであろうが、その重要性や必要性が今日ほど強く叫ばれた時代はなかったに違いない。それにもかかわらず、一方では「断絶の時代」ということばが流行語となるほどに、コミュニケーションの不可能性が問題にされている。しかも断絶は、親と子、教師と学生、経営者と労働者というような世代差や階層の違いの問題にとどまらず、同世代、同階層の間にまで滲透しているのである。

このような社会的現象は、当然のことながら、家族という血縁集団のなかにも容赦なく滲透していった。断絶など一般世間でのことで、「我が家に限って」と思っていただけに世の親たち、ことに母親のショックは大きかったに違いない。母親たちは今更に、「こどもとは何か」「親子関係とは何か」「コミュニケーションはどのようになすべきか」などについて強い関心をむけるようになっていく。

このような状況を反映してか、親子関係や親子の心理、親子の対話などをテーマとする出版物や、講習会、講演会、勉強会の類の催しものが、最近目立って多い。

わたしも、こうした集りにときどき引きだされるが、そのたびに感ずることは、いかにも女性が多いということである。そのほとんどが母親を中心とする女性によって占められている。聞くところによると、このような現象は、特に専門的なものは別として、一般教養的勉強会に共通した現象だということである。勉強することに対して別に異論をさしはさむものではないが、何か異様である。一体この熱心さは何なのであろうか。どこからくるのであろうか。

世の多くの父は「家のことはみんな女房まかせですよ。家に帰ってまで何やかや煩わされたのではやりきれませんからね」という。

これを、しっかりものの女房に甘えている男の一種の「ノロケ」として聞くなり、それなりに心楽しい。しかし、本音は、夫として父親としての本質的役割からの逃避ではないのか、男のエゴイズムによる女房への「おしつけ」ではないだろうか。

男が外の世界にあって、極度の精神的緊張のうちに過していることは確かである。家庭ではできるだけ余計な緊張から解放されたいと願う心情も理解できる。また、こうした夫を、父親を、あたたかく、やさしくつつんでやるのは、妻の、子の思いやりというものであろう。家庭とは本来、そうしたものである。しかし、だからといって父親が家庭における役割のすべてから解放される理由とはならない。

家族の問題は、単純な姿をしながらその実きわめて複雑であるのが常である。たとえ単純明解な経済的問題であっても、それが家族の問題である限り、複雑な人間の問題へと移行していくのが常であるのだ。家族成員の個人的問題であっても、それは必然的に成員全体の共通的問題に発展する。このことはいいかえるならば、家族の問題は、それがいかに個人的様相をもって現われても、それが成員の問題である限り、必然的に成員全体の問題に転化していくということである。

このことは、家族に問題が起ったとき、それに直接に関与するしないを別として、その「ラチ」外にすることを許されるものは一人もいないということの意味する。それ故にこそ、家族の問題の解決には成員相互の緊密な連けいが必要なのであり、その信頼と理解が不可欠の条件となるのである。家庭における父親の父親たる所以は、正にこのような人間的関わりの中かで、父親としての人格的リーダーシップを発揮することではなかったのか。

「おれは疲れてるんだ、家に帰ったときぐらい、そっとしておいてくれ。」ととにかく、家のことはみんな母さんにまかせてあるんだ適当にやってくれりゃあいいじゃないか」というのは男の勝手というものである。それは夫として、父として最も重大な役割の放きである。どんなに疲れていても果さねばならないもの、どんなに信頼していてもゆだねることを許さぬもの、それこそが父親の人格的リーダーシップなのである。

父親たちは、リーダーシップの経済的側面のみを重視するあまり、その精神的もう一つの側面をおろそかにした。家族に対する真のリーダーシップは、

むしろこの精神的側面である。父としての精一杯の生き方を通して具現される人格的リーダーシップこそ、家族の誰もが望む真の父親的役割なのである。家族内コミュニケーションの基礎もまたここにあるわけである。

わたしは、何かもってまわったようなことばをくだくだと述べてきたが、言わんとするところに、ようやくたどりついたようである。要するに、わたし

は、母親たちの異常なほどの勉強意欲も、“教育ママ”の出現も、後家の強がりに似た“しっかり者”の女房も、親子＝母子という一般家庭の母子家庭化現象も、そのよってきたる所以は、父親が自らの真の役割を理解せず、家庭における父親としてのリーダーシップを放棄したことにあるのだということ、そのことをいいたかったまでである。(1973・7・31)

BOOK REVIEW No. 6

「ヨーロッパ古書紀行」・文車の会編 文化出版局発行 157ページ 2,300円 千¥200
(東京都渋谷区代々木3の22の1, Tel 370-4484)

昨年の夏、東京の古書人の会「文車の会」の若い人達が、僅かの日数でヨーロッパの古書店を見て廻った記録が中心であるが、全体は

- 1 ヨーロッパの稀覯本。
- 2 ヨーロッパの稀覯本を訪ねて―庄司浅水。
- 3 ヨーロッパ古書案内―文車の会。
- 4 世界一のオークショナー、サゼビー―反町茂雄。
- 5 日本の古書の在外秘宝―反町茂雄。

の5篇に分かれている。

先づ1.のヨーロッパの稀覯本は古写本(Manuscripts)からはじまって印刷本に至るまでの解説で、美しいカラー図版が8枚程のせられて目を楽しませてくれる。

2.ヨーロッパの稀覯本を訪ねては この旅行に同行された日本の書誌界の大先輩、庄司浅水氏が、会の人達と、ときには単独でロンドン大英博物館、オックスフォードのボードレー図書館、パリーのビブリオテーク・ナショナル、ローマのパチカン文庫を見て廻った記録が写真入りで載せられ興味を抱かせる。特に我々洋書の仕事にたづさわる者のはしくれとして、これ位の事は一応の知識として心得ておくべきものであろう。

3.ヨーロッパ古書店案内は会員達が、ロンドンのケーガン・ホール、リューザック等15店、オックスフォードの我々ともなじみの深いブラックウエル等4店、パリーはサミュエリアン、ルペラン等30店スイスの4店を廻った記録で、特にロンドンとパリーの古書店については地図が附され、セーヌ河畔の古本屋研究が4ページ程さかれている。何れも実際に足を使って廻り、それぞれ簡単な説明と写真がのせられているだけに、これから行って見ようという人には便利なものであろう。

4.世界一のオークショナー、サゼビー、は文車の会の会長でもある反町茂雄氏が、8ページ程の写真入りで、サゼビーについての記事を書いている。NHKのテレビで紹介されたこともあるこの世界的なオークショナーは余りにも有名であるが、日本は長いしきたりで、入札やセリの一般への公開は警察から禁じられているそうだが将来さらに古書籍の流通を国際的にはからねばならぬとしたら、早くオークションを業者間のみでなく、一般も参加できる公開(パブリック)として欲しいものだと思う。そうした方が、長い目で見た場合、日本の古書流通機構の為にも大きなプラスとなると思う。

5.日本の古書の在外秘宝は前にもふれた反町氏は、日本の古書業界でも特に古典籍(明治以前の和装の書籍)の専門店として、大英博物館をはじめとする欧米の図書館に所蔵される古典籍について、その豊富な知識と経験を駆使して、解説を試みていて、一読に値する。ただ我々洋書輸入業者にとって、多少専門が外れるので、ここではくわしい紹介を略することにする。

最後に反町氏がまとめた「むすび」は、日本の古書業界とあちらの業界との相違を広い視野に立って列挙していて、大変参考となる上に、興味深いものがある。なお本書は出版社へ直接申しこまねば購入することが出来ない。(渡辺)

一国内の海賊版問題について—

アジソン・ウエスレイ社 塚 本 正 広

「海賊版」と云うと、すぐ台湾とか韓国のそれを思い出させるが、近年また国内に於てもその話を耳にする機会が多くなった。

戦後の混乱期、洋書が非常に高価で入手しにくかった一時期、海賊版は学生にとって重宝な存在であり、又海賊版を出版する側にも、それなりの大義名分があったことも事実であるが、現在と当時とでは全く事情が異っていることは云うまでもないことであり、又、台湾、韓国等の海賊版問題にしても、その政治経済状況を考慮すれば、日本とはいささかその事情が異っていることは否定出来ない。特に日本の場合、既に国際著作権協定（ベルン著作権条約）に加盟しており、しかも最近の急速な外貨の増大と実質的な円の切上げに伴って、洋書の価格が相対的に安くなっているわけで、海外の出版社にとって、最も大きな海外マーケットの一つである日本における海賊版問題には神経をとがらざるを得ないのも当然と云える。

昨年から、洋書輸入協会の中でも、英米出版社のレップを中心としてその対策を練ったことがあったが、過去の例からしても、労多くして報われないと云う先入観もあり、各社の足並みがそろわなかったが、最近、当社のとった海賊版訴訟事件の経過を簡単に述べてみたい。

数年前から、アジソン・ウエスレイ社から出版されている Gibbs: Atlas of Electroencephalography 全3巻（\$195）の海賊版が国内に出まわっていることを耳にすることが多かったが、誰がそれを製作・販売しているか、大体の想像はついて、その証拠をつかむことが出来なかったが、昨年秋、南江堂の加藤部長から、以前から海賊版のD・Mで悪名の高い南旺社がその販売をしているとの情報を得、早速精神科医の手を通して1セット（1万5千5百円、送料込み）を南旺社に注文し、昨年末に入手することが出来た。それと同時に、告訴に必要な書類をそろえる為、(1)著作権所有証明書及び著作権届出書類のコピー、(2)告訴状、(3)告訴委任状を本社から取り寄せ、その翻訳を付けて証拠物件と共に所轄の四谷署に提出、数日後にこの件に関する調書を作製し、告訴の手续をとった。旧来、海賊版訴訟の折、民事訴

訟による場合が大半であったと聞くが、民事の場合弁護士料等相当額の費用と、それに削ぐ時間とを考慮すると、可成りの出血を覚悟しなければならず、果してそれでペイするかどうかと云う問題もあってその為、刑事訴訟によることとしたわけである。

その結果、4月初旬、南旺社は四谷署によって搜索を受け、その後東京地方検察局特捜課に書類送検され、現在に至っている。四谷署の調べによると、南旺社は Gibbs の「脳波図表」を270セット印刷し、46年8月から1年間で、ダイレクト・メールによって完売した事を認めた。従って著作権法第113条に規定する権利侵害行為に相当することは明らかであり、第119条に抵触するはずである。ただしここで問題なのは、摘発された南旺社だけではなく、その背後関係、及びその周辺の手続き出版、販売業者とのつながりがどこまで明らかに出来るかと云うことである。今迄にもある程度、南旺社の黒幕的存在や、南旺社と関係があると思はれる同業数社の存在が浮かび上りつつはあるが、その最終的な究明は、今後の摘発と調査にまたなければならない。

現在のところ、著作権法に定める罰則は比較的輕微であり、又我々出版社及び業界に於ても、一種の諦めにも似たものがあつたことも事実ではあるが、少くともベルン条約に加盟している限り、国内の海賊版の横行を野放し同然に放置することは認めがたく、そのためにも業界同部での情報交換、及び研究者からの情報提供も今後一層必要となってくる。

昨年、米国某出版社が前述の南旺社を摘発し、示談によってその損害賠償をさせたことが伝えられたが、旧来の民事訴訟のみによらず、今後もケース・バイ・ケースでその処置にあたる必要があるであろうと思われる。

今回の海賊版訴訟事件に関し、医学書院の椿専務並びに下山課長、南江堂の加藤部長、丸善の柴田課長をはじめ、多くの方々から貴重な助言とご協力をいただいたことを、この紙面をかりて御礼申し上げます。

追 記

その後の塚本氏から、この件については示談が進められている旨連絡がありました。（編集委員会）

I. L. A. B. 第22大会東京で開催

第22回 I. L. A. B. (International League of Antiquarian Booksellers. 国際古書籍商連盟) 大会が、9月22日から27日まで東京フリスホテルで開催される。その後9月28日から30日までホテルグランドパレスで第5回国際古書即売展 (5th International Antiquarian Book Fair, Tokyo) がひらかれる予定である。I. L. A. B. は1947年ヨーロッパを中心に6カ国、約200社で発足したが、その後発展の途をたどり、現在では加盟国16、2,000社を数えている。A. B. A. J. (Antiquarian Booksellers Association of Japan. 日本古書籍商組合) は1964年に発足、15番目の加盟国として I. L. A. B. に加盟した。初代会長は村口四郎氏、現会長は松村竜一氏

である。

今回の東京大会は、1971年ロンドンで開かれた第21回大会において、満場一致で決議されたもので、本協会会員雄松堂新田満夫氏を実行委員長として、鋭意準備にあたってきた。6月末現在で大会には加盟国のほかオブザーバーを含めて約16カ国から170名近くの参加が予定されており、古書即売展には12カ国60社が参加を申しこんでいて、時価10億円に及ぶ古書が展示・即売される。

洋書業界にもっとも近い関係にあるこの業界が東京で世界大会を開催することはまことに御同慶のいたりであり、大会、即売展に大きな成功をおさめることを期待したい。

会 員 紹 介

(賛助会員)

Addison-Wesley Publishing Company, Inc.

アジソン・ウエスレイ出版社 東京事務所

極東代表 塚 本 正 広

アジソン・ウエスレイ社は1944年に現在のマサチューセッツ州に設立され、Addison と Wesley の創立者二人の middle name が、そのまま社名とされた。同社の近くの I. M. T. の教授から物理学の教科書出版を依頼されたのが契機となり、以後、物理、数学を中心としたテキストの出版社として発展し、現在の基盤を礎き上げた。1971年秋に Benjamin 社を吸収してから、Advance Book Program を新設して、大学以上の Text, Reference Books を出版し始め、出版点数も年間約250点に達したが、今後も日本のマーケットにフィットするレベルのものが増えるとのことである。

東京事務所では、これら主要出版物の日本におけるセールス・プロモーションを行っており、Brocher を作成、輸入協会員は勿論のこと、各大学図書館や研究者にダイレクト・メールを送送している。このような出版傾向によって、テキスト出版社としての従来のイメージが今後は見直されてくるであろう。また理工書重点の中にも、今年の春から English as a second language を指標として International Division から出版された New Harizons in English というシリーズは同社の更に新しい分野の開拓を示している。

乗用車、書籍など10銘柄の輸入品価格

——通産省調査報告——

7月23日付け「通産省公報」に上記の資資が発表されています。以下に関係事項のみを引用いたします。

はじめに

昭和48年2月14日、円は変動相場制に移行し、その後、円高相場が続いており、このため、わが国経済に対して各種の影響を及ぼすことが予想されるが、輸入面においては、一般的には円価に換算した輸入価格を引下げることがある。

ちなみに、最近における主要外国通貨為替相場（円換算）の対スミソニアン平価下落率をみると、米ドル、カナダドル、英ポンド等では10%以上の下落がみられる。

こうした平価の下落が輸入価格の低下をもたらした場合にその効果を国内物価の安定に役立てることは極めて重要であり、通産省では4月24日、関係輸入団体および国内流通団体に対し、傘下企業が円高相場のメリットを未満価格に十分反映させるよう周知徹底を強く要請した。

この要請を受けて、各団体とも傘下の会員、組合員等に対し、その趣旨の徹底を図る等の措置を講じたところである。

このような状況にかんがみ通産省としては、この要請の実施状況を把握するため輸入価格の値下りの効果が着実に国内消費者物価に反映してきているかどうかを調査したものである。

今回の調査は、輸入消費財のうち、輸入比率が比較的高く、または調査が技術的に困難でない物資、具体的には前回の円切り上げ時に調査した品目のうち、10品目（乗用車、エアコン、腕時計、万年筆、ゴルフクラブ、ライター、安全かみそり、カラーフィルム化粧品、書籍）を再度調査したほか、加えて新しい試みとして、主要原材料のうち、羊毛、綿花、原油銅鉱石（鉄鉱石）の5品目を参考にすべく調査したものである。

なお、当調査報告の概要については、5月26日付け本紙を参照。

書籍（一般洋書）

□ 概 況

□ 輸入商品の内訳

一般書籍と定期刊行物の種類にわかれ、両商品の輸入ウエイトはほぼ同程度である。

（一般書籍	47～49%）
（定期刊行物	51～53%）

主要な輸入相手国はアメリカ、イギリス等であり、47年の輸入（金額ベース）はアメリカ約50%、イギリス約20%その他30%となっている。

□ 輸入契約

輸入契約は、相手企業と総代理店契約を締結しているものは全体の取引量のうち10%程度であり、大部分は総代理店契約を締結していない。また、商品の性格上、商標法に基づく商標権もしくは専用使用権を有しているものは見あたらない。

□ 流通経路

書籍の流通経路は極めて簡略なものであり、輸入業者が直接小売店となる場合が大部分である。従って、円高相場により輸入価格が低下した場合、ただちに小売販売価格に反映させることが可能となる。

□ 価格形成

小売販売価格の70～80%が輸入CIF価格であり、残りの20～30%は、輸入諸掛りおよび販売業者の収益にあてられる部分である。

なお、書籍に関する関税および物品税は無税である。

書籍には、一般洋書のほか百科事典があるが、百科事典については、最近値下りを示したものは見あたらない。また販売方法はセールスマンによる直接販売である。

□ 輸入価格の推移

輸入契約は、一般的には輸入相手国通貨で行なわれるため、アメリカ、イギリスからの輸入書籍については、米ドル、英ポンドに対する円高率だけ、実質的に輸入価格が下がっている。

□ 円高相場に伴う小売価格の動向

輸入書籍の小売販売価格を決定する方法は、外貨で表示されている定価を販売業者の経費・マージン等を加えた一定の円換算レートを設定して計算するのが通例である。

この換算レートは、変更され、小売価格は値下りを見せている。

海外ニュース

「英国書籍の売上高」

英国商務省の数字に基づきブック・デベロップメント・カウンシルが発表する毎年の書籍売上高の統計は、著しく遅延していたが、このほどようやく発表された。

下記の表に見られるように、売上高は年々著実な伸びを示しているが、国内の伸びに比較して輸出の伸びはそれほどでなく、輸出の比率は年々低下してきている。

なお、1969年と1970年の数字は前回発表のものを改訂しており、1972年の数字は必ずしも正確なものではなく、今後より実績に近い数字に訂正される余地を残している。

英国書籍売上高

Year	Total £	Home £	Export £	Export Percentage
1969	145,893,000 R	77,370,000 R	68,523,000 R	46・97 R
1970	153,676,000 R	85,834,000 R	67,842,000 R	44・15 R
1971	179,099,000	101,243,000	77,856,000	43・47
1972	203,045,000 P	120,343,000 P	82,702,000 P	40・73 P

R = Revised

P = Provisional

(The Bookseller, 6月30日号より)

「英国の出版点数著増」

1973年前半期（1月～6月）の出版点数の集計結果が The Bookseller 誌 6月30日号に発表されている。

これによれば、新刊、重版、リプリントともに増えて総計16,644点、前年同期より6%の増加を示している。総計では934点の増加で、このうち重版は448点の増加である。

分野別に見ればかなりの変動が見られる。過去二年間で点750以上も減少した小説は、今期は261点回復した。1972年全体で177点増加した児童書は、今期も220点増加している。宗教、旅行案内、医学、伝記の分野はいずれも著増している。理工系の分野は減少が目立つ。教科書も更に減少、産業は昨年25点減少、今期49点と続落の気配である。(The Bookseller, 6月30日号より)

「マーカムとランド・マクナリーの合併」

シカゴの Markham Publishing Company は、Rand McNally & Company の College Department から独立した Rand McNally College Publishing Company と合併した。

ランド・マクナリーの副社長、Thomas J. Hermes 氏が新社長に就任。カレッジ・デパートメントの部長であった Lawrence Malley 氏がゼネラル・マネージャーに、マーカム社の前社長 John Applegath 氏は編集長で原稿調達の責任者になった。

地理、教育、数学、社会科学などの分野の教科書や参考書など合併したタイトルは、今後新社のインプリントで販売されるが、一部のマーカム社の既刊の著名タイトルにはマーカム社の名前が残される。

事務所は、ランド・マクナリーのシカゴ郊外の本部に置かれるようである。

(Publisher's Weekly 7月2日号より)

ニュース

- ☆ 英国 Dawsons of Pall Mall 社の Director, Mr. John R. Boyle 月上旬来日。
- ☆ スイス International Microfiche Center IDC NV の Assistant Director, Mr. Jan P. Juffermans 7月中旬来日。
- ☆ 米国リージェンツ出版社は、このたび Regents Worldwide Inc., Japan Branch を設立し、小野照男氏が支店長に就任した。事務所は杉並区南荻窪3-18-10(山田ビル2階)〒167、電話334-9931
- ☆ OECD(経済協力開発機構)出版センターが、7月24日業務を開始した。同センターは、OECDの直轄機関で、米国内にも既に設立されており、日本国内でもOECDの書籍の販売、および雑誌購読の予約業務を行なう。
- 所在地 東京都港区赤坂 2-3-4
赤坂パークビル Tel. 586-2016~8
代表者 Mr. John R. Barnett

通 関 統 計

外国貿易概況(大蔵省関税局編、日本関税協会発行)1973年3月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和48年3月 \$5,341,000 1月以降累計 \$14,614,000
昭和47年3月 \$4,501,000 \$12,070,000

(註) 此の統計は、CIF価格で10万円以下の少額貨物は含まれない

事務所移転ご案内

今般次の通知がありましたのでお手許の会員名簿の訂正をお願い致します。

(株) カ イ ガ イ

新 住 所 大阪府吹田市広芝町5番30号

郵便番号 564

電話番号 (06) 385-5231(代)

投 書

会報委員会にお願いがあります。

テーマをきめて連続の座談会をやって下さいませんか。

- (1) ドイツ語書籍のチーム
- (2) 小国語書籍のチーム
- (3) 卸専門のチーム
- (4) 経済専門のチーム
- (5) 医学専門のチーム
- (6) 視聴覚教育器具のチーム
- (7) 小売店をもっているチーム
- (8) 工学関係特にリポート専門のチーム
- (9) 美術、芸術のチーム
- (10) 特殊文献のチーム
- (11) 古書籍に強いチーム
- (12) リプリント、複写文献などのチーム

同業各社の性格と業務の内容がたくまずして判って面しろいと思います。更にいうなれば

- (13) マンモス会社のチーム
- (14) ホドホド会社のチーム
- (15) ミニ・ミニ会社のチーム

なども面白いのではないかと思います。

服部貞夫(国際書房)

おこたえ

関係委員会と相談して、研究したいと思います。(会報委員会)

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

丸 善 (株) 272-7211

Bessis, M. - Atlas Red Cell Shape. 1973. 140 p.
(Springer Verlag) (Ready in October) ¥13,720

Bessis, M., R. I. Weed, P. F. Leblond (eds.) -
Red Cell Shape: Physiology, Pathology,
Ultrastructure. 1973. 180 p. (Springer Verlag)
(Ready in July) ¥4,540

Crowell's Handbook of Contemporary American
Poetry. Ed. by K. Malkoff. 1973. 288 p.
(T. Y. Growell) (Ready in November) ¥2,860

Crowell's Handbook of Elizabethan and Stuart
Literature. Ed. by E. Ruoff. 1973. 576 p.
(T. Y. Growell) (Ready in November) ¥3,500

Forfar, J. O. and F. C. Arneil (eds.) - Textbook of Paediatrics. 1973. (Churchill Livingstone)
(Ready in September) ¥24,640

Greenfield, J. G. - Neuropathology. 3rd ed. Ed. by W. Blackwood and J. A. N. Corsellis. 1974. 688 p. (E. Arnold) (Ready in late '74) ¥17,600

Oden, J. T. and E. R. A. Oliveira (eds.) - Lectures on Finite Element methods in Continuum Mechanics. Lectures of The NATO Advanced Study Institute on Finite Element Methods in Continuum Mechanics held in September 1971, Lisbon. Organized by the Laboratório Nacional de Engenharia Civil. 1973 561 p. (UAH Press, The University of Alabama in Huntsville) ¥5,760

Quennell, P. - A History of English Literature. 1973. 512 p. (G. & C. Merriam Co.) (Ready in October) ¥4,800

Solid Mechanics Division, University of Waterloo. All Solid Mechanics Publications. (SM Studies Series/SM Texts Series/SM Special Publications Series) (Solid Mechanics Division, Univ. of Waterloo)

Topley, W. W. C. and G. S. Wilson - Principles of Bacteriology and Immunology. 2 Vols. 6th ed. by G. S. Wilson and A. A. Miles. 1974. 3,000 p. (E. Arnold) ¥44,000

Weir, D. M. (ed.) - Handbook of Experimental Immunology. 2nd ed. 1973. 1,100 p. (Blackwell Scientific Pub.) (Ready in August)
Complete Cloth-Bound Volume. ¥19,800
Three Separate Paper-Bound Parts.

Part 1: Immunochemistry. ¥7,480
2: Cellular Immunology. ¥6,160
3: Application of Immunological Methods. ¥6,160

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社
• 262-5278

代表業務開始

総代理店 Gray-Mills Publishing Ltd. England
Lexington Books. U. S. A.

ストックリスト The Darwin Press, U. S. A.
University of Washington Press,
U. S. A.

代表業務停止

International Universities Press, U. S. A.
(なお今後出版物のご注文、お問合せは下記へお送りください
たさるようご案内申し上げます。)
Academic Press (London) Ltd
24-28 Oval Road
London NW1 7DX, England

内外交易 (株) • 400-2326

INSTITUT GÉOGRAPHIQUE NATIONAL/FRANCE
All Maps

会員の横顔

光 洋 書

吉 兼 三 郎

マルクの切りあげや
ら何やら、頭の痛いこ
とがつづく昨今であ
る。カンカン照りの土
用の日に、久し振りに
取材に出かけて、合羽
坂から市ヶ谷に抜ける
道、昔は市ヶ谷台の緑
にお濠を渡ってくる風



が吹きつけたあたりに違いないのに、今は地下鉄工事
と車の洪水。光洋書のあるフラワービルを眼前にしな
がら、通りを横切るのに数分を費さねばならなかった。
そんなこんなから、吉兼さんにお目にかゝっての
話が、のっけからグチ話めいてきたのも、又止むを得
ぬ次第かも知れない。

「全くキビシイことになってきました。」と温厚な
吉兼さんの顔がひきしまる。25年に早稲田の商学部を
卒えて海外出版に入社、39年まで大阪と東京の営業畑
を経験してこられた方がキビシイと云はれるのだから
本当に厳しいのに相違ない。40年光洋書を創立。石油
経済専門という全くユニークな分野で活動を開始す
る。当時の石油業界はまだ原油の精製が主で、開発事
業が起ったのは何年か後のこと、いわば吉兼さんは見
事に時代を先取りして、今日の光洋書を築かれたわけ
である。一つの業界から、あそこに頼めば資料は何と
かなる、とあてにされることは、情報産業にたづさわ
るものにとって冥利に尽きることと思はれる。そして
それだからこそ仕事も楽しく、やり甲斐があるわけだ
が最近のように競争相手が出てきたりすると難しいこ
とが多くなりましてね、と先駆者の苦勞を思わせる話
になって又キビシクなる。

キビシがってばかりいても始まらぬから、御趣味は
と何う。磯釣りが好きで昔はよくやられたらしい。グ
ラスファイバーの今の竿は腰がなくて、引きの手応え
もまるで面白くない、やっぱり竹でないと駄目です、
と蓋審の程を示される。そこで聞き手が一腰のり出し
たら、でも近頃は忙しさに追われて全然ダメ、昔集め
た良い竿も虫が喰っています、と又々キビシクなって
しまった。(自宅：調布市染地3-1-29、多摩川住宅
ハ-7-103)

フランス・国土地理院 (INSTITUT GÉOGRAPHIQUE NATIONAL)

発行出版物のご案内

既に会員皆様にご通知致しました通り、小社は1973年6月1日付をもって、同院の日本総代理店となりましたので、同院発行の出版物に関し、お知らせ致します。

☆ フランス国内 大・中・小縮尺 地形図

1:20,000 ~ 1:1,000,000 各種

☆ フランス国内 市街図 及特種図

☆ フランス及仏領地域 観光地図

山岳地図、森林地図、国立公園地図

☆ アフリカ州 旧仏領国 大・中縮尺 地形図

1:50,000 ~ 1:1,000,000 各種

☆ 立体地図 (1:10,000, 1:50,000, 1:20,000 その他)

☆ フランス古地図

◎ カタログは現在準備中ですので出来次第皆様にお送り致します。

ス イ ス K & F 社 道 路 地 図

地図製作技術に伝統を誇るスイスK & F社の道路地図はここ数年、小社が日本総代理店になって以来、日本の需要は急激に増して来ました。

海外旅行が日常茶飯事となった今日、地図はかかせないものとなったからです。

小社には常時、K & F社の道路地図は在庫しておりますのでご用命の程お願い致します。

☆ カタログご希望の方はお知らせ下さればお送り致します。

日 本 総 代 理 店

内外交易株式会社

〒150 東京都渋谷区広尾1-7-3-107

☎ (03) 400 2326

昭和48年8月 通巻第76号 洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室

☎ 271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル

☎ 371-5329